

地域交通シンポジウム 「緊急提言～地域交通制度の革新案～」

○主 催：一般財団法人運輸総合研究所

○日 時：2025年7月7日(月) 13:30～16:30 (開場:13:00)

○会 場：イイノカンファレンスセンターROOM A および オンライン配信 (Zoomウェビナー)

プログラム 注) プログラムは変更になる可能性があります。

【開会挨拶】宿利 正史 運輸総合研究所 会長

【来賓挨拶】水嶋 智 国土交通省 国土交通審議官

【提言報告】「地域交通制度の革新案（緊急提言）」

城福 健陽 元京都府副知事、運輸総合研究所 特任研究員

【パネルディスカッション】

モデレーター 宇都宮 浄人 関西大学 経済学部 教授

パネリスト 仮井 康裕 広島電鉄株式会社 代表取締役社長

小嶋 光信 両備グループ 代表 兼 CEO、
一般財団法人地域公共交通総合研究所 代表理事

松本 順 株式会社みちのりホールディングス 代表取締役会長

松本 義人 西日本鉄道株式会社 副社長執行役員 自動車事業本部長

城福 健陽 元京都府副知事、運輸総合研究所 特任研究員

【閉会挨拶】上原 淳 運輸総合研究所 理事長

主なSDGs 関連項目



会場アクセス

イイノカンファレンスセンター 4階 Room A

<https://www.iino.co.jp/hall/access/>

東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結
 東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
 東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分
 JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、
 都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
 都営地下鉄三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

〒100-0011

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階



登壇者のご紹介



提言報告 兼 パネリスト 城福 健陽

元京都府副知事、運輸総合研究所 特任研究員

<略歴>

1988年3月京都大学経済学部卒業。運輸省入省以降、JNTO（ニューヨーク事務所）次長、経済産業省商務情報政策局参事官（観光・集客サービス）、国土交通省総合政策局交通支援課長、航空局参事官（近畿圏・中部圏空港担当）、総合政策局公共交通政策部長、海事局次長、運輸安全委員会事務局長等。2015年～2018年京都府副知事。2023年5月より現職。

【専門分野】

地域交通政策（需給調整規制廃止から地域公共交通活性化・再生法、地域最適な地域交通展開、協働・連携による地域交通展開と独禁法、補助制度、日本版MaaS）鉄道（地域・都市鉄道）航空（関空・伊丹コンセッションと神戸空港との3空港一体運用）観光（ラグジュアリー・トラベル・マーケット、地域連携DMO、地域・地域資源ブランディング）サービス産業（JCSI(日本版顧客満足度指数)、ディスプレイ産業、展示会産業)



モデレーター 宇都宮 浄人

関西大学経済学部 教授

<略歴>

1984年京都大学経済学部卒業。1991年マンチェスター大学修士（経済学）、2021年京都大学博士（経済学）。1984年日本銀行に入行。2003年日本銀行調査統計局物価統計課長、2010年同金融研究所歴史研究課長などを歴任。2011年から現職。2017年度、2024年度上期、ウィーン工科大学客員教授を兼任。

主著に『持続可能な交通まちづくり』（柴山多佳児氏との共著、筑摩書房、2024年刊、第50回交通図書賞受賞<2025年>）、『地域公共交通の統合的政策』（東洋経済新報社、2020年刊、日本交通学会賞<2021年>、第42回国際交通安全学会賞受賞<2021年>）、『地域再生の戦略』（筑摩書房、2015年刊、第41回交通図書賞受賞<2016年>）、『鉄道復権』（新潮社、2012年刊、第38回交通図書賞受賞<2013年>））、など。

2021年日本交通学会副会長。専門は交通経済学、経済統計学。



パネリスト 仮井 康裕

広島電鉄株式会社 代表取締役社長

<略歴>

1983年立命館大学経営学部を卒業後、広島電鉄に入社し、主にバス事業の企画業務や本社での人事労務管理業務などに従事。

1999年に新設した広島市西部エリアのバス事業子会社「エイチ・ディー西広島」の社長として、地域密着型経営を定着させた。

2012年の呉市交通局のバス路線全面移管にあたっては準備段階から携わり、執行役員呉バスカンパニープレジデントとして呉エリアでのバス事業再生に道筋をつけた。

2020年に常務取締役、2022年に専務取締役に昇任、2023年からは代表取締役専務として日本初のABT方式を採用した新乗車券システムの開発など交通政策分野や、DX・IT分野のかじ取りを担う。2024年に現職に就任。

登壇者のご紹介



パネリスト 小嶋 光信

両備グループ 代表 兼 CEO、一般財団法人 地域公共交通総合研究所 代表理事

<略歴>

1968年慶應義塾大学経済学部 卒業。慶應義塾大学ビジネススクール（現：同大学大学院経営管理研究科）修了。(株)三井銀行[現・三井住友銀行]勤務を経て、73年両備運輸(株)常務、99年両備バス(株)社長、2007年両備ホールディングス(株)社長、11年両備ホールディングス(株)会長兼CEO、13年(一財)地域公共交通総合研究所 代表理事に就任。

現在、両備グループ約50社の代表のほか(一社)中国旅客船協会 代表理事、(公社)岡山県バス協会 代表理事、(一社)日本旅客船協会 副会長、(公社)日本バス協会 理事、(一社)日本民営鉄道協会 理事などを務める。

「忠恕」を経営理念として、猫の[たま駅長]でシンボル化された和歌山電鐵や中国バス等の再生と交通関連の法制化を通して地域公共交通の活性化に取組み、2016年に交通文化賞を受賞。「歩いて楽しいまちづくり」を目指して「エコ公共交通大国構想」を提唱中。

著書：『日本一のローカル線をつくる』学芸出版社(2012)、『地方交通を救え!』交通新聞社(2014)、『地域モビリティの再構築 監修：家田仁／小嶋光信』薫風社(2021)



パネリスト 松本 順

株式会社みちのりホールディングス 取締役会長

<略歴>

1961年生まれ、仙台市出身。上智大学法学部卒業後、GM系投資会社などを経て、2003年産業再生機構執行役員に就任。九州産業交通、関東自動車などの事業再生案件を統括。機構解散後、2007年に経営共創基盤（IGPI）の設立に参画（現在も共同経営者）交通・観光事業の経営改革や再生を行うプロジェクトに関与。2009年IGPI傘下に設立したみちのりホールディングス代表取締役就任。また、2024年に日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長に就任。

その他に、岩手県北自動車・みちのりホテルズ・福島交通・佐渡汽船の取締役会長、会津乗合自動車・関東自動車・茨城交通・湘南モノレールの取締役を兼任。

経済産業省 デジタルライフライン全国総合整備実現会議構成員、JR四国経営改善委員会委員、一般社団法人東北経済連合会地域政策委員会幹事などを務める。



パネリスト 松本 義人

西日本鉄道株式会社 副社長執行役員 自動車事業本部長

<略歴>

1991年 九州大学法学部卒業後、西日本鉄道入社。

2015年 自動車事業本部営業企画部長

2017年 まちづくり推進本部まちづくり・交通企画部長

2019年 執行役員都市開発事業本部副本部長兼まちづくり推進部長

2020年 常務執行役員まちづくり推進部長

2021年 常務執行役員自動車事業本部長

2024年 専務執行役員自動車事業本部長

2025年 副社長執行役員自動車事業本部長（現職）